

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特別児童扶養手当事務等					整理番号	265	枝番号		
担当部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	091004	連絡先 電話番号	1146	昨年度 整理番号	271	昨年度 枝番号	
係名					障害者福祉係			上位施策名		No	
予算事業名					心身障害者福祉手当等支給		コード	34550	障害児の援護の充実		27
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		39 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 特別児童扶養手当受給対象者等		(1) 特別児童扶養手当等の支給に関する法律 (2) 特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令、同省令 (3) 特別児童扶養手当の支給に関する法律に基づく都道府県及び市町村に交付する事務費に関する政令					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			1. 特別児童扶養手当の支給は東京都が行っており、区は認定請求書の受理、進達、証書の交付事務等を担当。 2. 特別障害者手当(月26,440円)、障害児福祉手当(月14,380円)、(国)福祉手当支給(経過措置分・月14,380円)の支給							
	活動指標名(式)			(1) 受給者数(特別児童扶養手当・特別障害者手当・障害児福祉手当・(国)福祉手当) (2)							
			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 心身、精神に障害を有する者(児童)及び監護する者等に手当を支給することにより、対象者の福祉の増進を図る。								
			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 総支給額(特別障害者手当・障害児福祉手当・(国)福祉手当) (2)								
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
指標	活動指標(1)		人	776	882	779	801	759	798		
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		千円	155,289	169,884	150,991	160,253	149,624	159,258		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	155,478	170,154	151,215	160,613	149,955	159,619	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.96	0.96	0.96	0.99	0.98	1.08		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	8,736	8,698	8,698	8,969	8,879	9,785	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 + +		千円	164,214	178,852	159,913	169,582	158,834	169,404		
	単位あたりコスト(-)÷		円	211,616	202,780	205,280	211,713	209,267	212,286		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	118,528	127,828	113,381	120,539	114,414	119,786	
特定財源計 +		千円	118,528	127,828	113,381	120,539	114,414	119,786			
差引: 一般財源 -		千円	45,686	51,024	46,532	49,043	44,420	49,618			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)		
			特別障害者手当・障害児福祉手当・(国)福祉手当支給				延6,462	人	149,623		
			嘱託医謝礼金				12	回	244		
			特別児童扶養手当支給事務費						88		
			その他 ()						0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 265 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	94.8	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	93.4
		延支給人数は、特別障害者手当・(国)福祉手当では減、障害児福祉手当では増(いずれも対前年度比)。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		広報で周知するとともに、窓口や電話での問合せに対してはできる限りの聴き取り調査を実施した。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	政令により手当額の改定が行われており、平成18年4月1日から 特別障害者手当 = 26,440円 障害児福祉手当 = 14,380円 (国)福祉手当 = 14,380円となっている(いずれも月額)。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)					
	今後の予測	特別児童扶養手当及び障害児福祉手当は少子化により対象者の減少が予測される一方で、特別障害者手当の対象者は人口の高齢化に伴い増加が見込まれる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 厳しい社会経済情勢の中で、一定額の手当支給は受給者への援護の一部となっている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 受給資格が見込まれる方に対して制度を周知する(広報・窓口・電話相談等)。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 国の制度による手当であるため、その性格上見直しの余地はない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 国の制度であり、事務処理は国が制定した事務取扱細則準則によって行っているため、事務処理の簡素化を図ることは難しい。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: 手当の性格上、協働等はなじまない。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 受給資格が見込まれる方へ制度を周知するために、窓口や電話での相談・案内を充実させるとともに、広報やHPへの掲載等を行う。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	(国)福祉手当は経過措置により支給しているため、新規申請の受付はしていない。特別障害者手当は増加、障害児福祉手当は減少が見込まれるが、手当支給にかかる全体の予算は横ばい傾向になると見込まれる。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童育成手当(障害手当)					整理番号	266	枝番号			
担当部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091004	連絡先 電話番号	1147	昨年度 整理番号	272	昨年度 枝番号		
係名		障害者福祉係		上位施策名				No				
予算事業名		児童手当・児童育成手当支給		コード	40150	障害児の援護の充実				27		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 身体障害者手帳1・2級、愛の手帳1～3度、脳性麻痺、進行性筋萎縮症を有する児童を扶養する父または母				根拠法令等					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		上記の障害児を扶養する父または母に対する生活の支援。 月額 17,000円				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		(1) 杉並区児童育成手当条例、同施行規則 (2) (3)		障害児を扶養する保護者に児童育成手当(障害手当)を支給することにより、障害児の福祉の増進及び保護者の負担を軽減する。	
	活動指標名(式)		(1) 対象児童数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 対象児童数の対前年比		(2)	
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		名	195	189	186	207	179	213			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	101	98	95	111	96	119			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	39,480	38,629	39,012	42,302	37,344	43,527	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.21	0.21	0.21	0.22	0.21	0.21			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,911	1,903	1,903	1,993	1,903	1,903		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	41,391	40,532	40,915	44,295	39,247	45,430			
	単位あたりコスト(-)÷		円	212,262	214,455	219,973	213,986	219,257	213,286			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	41,391	40,532	40,915	44,295	39,247	45,430				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		手当支給								37,298		
		支給事務費								46		
		その他 ()								0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 266 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	86.5	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	88.3
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成11年度受給者数262人(対象児童数270人)、平成12年度190人(197人)...所得制限の導入により減。以降微減で推移していたが、平成16・17年度は新規認定者数の増加により当初予算を上回る実績があった。平成18年度は、新規認定者数が平成16年以前の数値に戻ったため、減となった。受給者数174人(対象児童数179人)				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	厳しい社会情勢の中、本事業に対する期待は大きい。				
	今後の予測	19年度についても受給者数は、増加が見込まれる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 障害児を扶養する保護者を支援するうえで、障害児の福祉の増進、保護者の経済的負担の軽減に貢献している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 所得の制限を設けている。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 児童育成手当(障害手当)の性格上、受益者負担はなじまない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 経済的給付施策の見直し対象事業である。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 手当の性格上、区が実施すべきである。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 障害者自立支援法の施行により障害者施策の再編の検討が進む中で、利用者負担や他の経済的給付施策との関連を考慮し、生活実態を把握しながら事業内容を見直す必要がある。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 対象者への影響を考慮し、障害者関係団体、施設を通じた説明会や広報等により、障害者施策の再編とあわせ具体策を提示し、理解を求めていく。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 今後も微増傾向が続くと思われる。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害児保育						整理番号	395		枝番号							
担当部課名		保健福祉部保育課		コード	092601		連絡先 電話番号	1373		昨年度 整理番号	408		昨年度 枝番号					
係名				管理係				上位施策名			No							
予算事業名				保育園運営				コード			40750		障害児の援護の充実		27			
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		59年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	2		施策番号	3		事業コード	15	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規		<input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		保護者が昼間に居宅外で常態的に労働しているなどで保育に欠けている障害児		(1) 児童福祉法第24条第1項、第39条		(2) 児童福祉施設最低基準(厚生省令)		(3) 杉並区保育の実施に関する条例							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		障害のある児童を預かり保育を実施する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		障害児保育を円滑に運営し、障害児の福祉の増進を図る。											
	活動指標名(式)		(1) 障害児保育在籍児童数		(2) 障害児保育を行った保育園数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 実績率 = 障害児保育入園児童数 ÷ 障害児保育入園申請者数		(2)							
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%							
	活動指標(1)		人	844	840	827	852	786	852									
	活動指標(2)		園	36	44	34	44	32	44									
	成果指標(1)		%	71.0		89.0		88.9										
	成果指標(2)																	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	43,061	45,617	54,418	45,196	55,483	48,099	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)								
	(内)投資的経費等		千円															
	(内)委託費		千円															
	職員数(常勤 非常勤)		人	28.70 0.60	28.81 0.60	29.86 0.60	29.86 0.60	22.80 0.60	29.80 1.00	平成17年4月より国の 三位一体の改革により 補助金が交付金に変更され、 交付金等は未定。								
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	261,170	261,019	270,532	270,532	206,568	269,988									
		非常勤職員分	千円	1,728	1,734	1,734	1,698	1,698	2,830									
	総事業費 + +		千円	305,959	308,370	326,684	317,426	263,749	320,917									
	単位あたりコスト(-)÷		円	362,511	367,107	395,023	372,566	335,559	376,663									
	財源	受益者負担分		千円														
		国・都等からの支出金		千円	1,305	2,000	1,792	0	1,674				0					
特定財源計 +		千円	1,305	2,000	1,792	0	1,674	0										
差引:一般財源 -		千円	304,654	306,370	324,892	317,426	262,075	320,917										
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)								
			医員報酬及びアルバイト賃金等					7,492	人	55,145								
			保育材料費							338								
			その他 ()							0								

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 395 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	92.3	活動指標(2)の 18年度達成率%	72.7	18年度予算 執行率%	122.8
	正規職員の欠員分を臨時職員等で対応したため人件費が増となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成17年9月に「保育サービスあり方検討部会」により「保育サービスの新たな展開」が報告され、障害児保育等の特別保育事業の充実のほか、保育士定数の見直しと保育充実のための必要な要員配置が報告され、これに基づき実施する。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	障害児保育指定園を設けて職員の増配置や、特別保育室の設置等の保育条件を整備し障害児を受け入れている。現在までに指定園を1園から5園に増やし、一般園においても、1~2名の受け入れを可能としている。さらに、15年4月1日からは、指定園において定員外で最大7名の障害児を受け入れている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	障害児の入園については、保護者の要望に答えているが、重度の障害児の保護者からも保育園入園の要望がある。				
	今後の予測	保育を必要とする障害児は、今後も増加するものと見込まれる。また、障害児の入所要件等の見直しも必要である。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 障害児保育は、杉並区基本計画・実施計画における「障害児保育の拡充」にも掲げており、その実施は、安心して子どもを産み育てられる社会の実現及び子どもの健やかな成長に大きく貢献している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 障害児の受け入れ拡大については、保育士等の定員の増大を伴うため。				
	成果向上のための方策	理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 通常保育料以外に障害児保育に関する費用について別途料金を徴収していない。なお、通常保育料については、家庭で保育をしている世帯と認可保育所を利用している世帯の受益者負担の適正化を図るため、社会経済情勢(税源移譲)の変化や他区の状況を踏まえ、保育料の見直しが必要である。				
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 主な経費が人件費のため大幅な削減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: H17.9に出された「保育サービス提供のあり方検討会」の最終報告において、今後の公立園の役割として、障害児等の積極的な受け入れに努めることとしている。また、障害児保育のみを分離して委託することは、好ましくないため、区が一体的・継続的に実施する必要がある。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成17年9月に「保育サービスあり方検討部会」により「保育サービスの新たな展開」が報告され、障害児保育等の特別保育事業の充実のほか、保育士定数の見直しと保育充実のための必要な要員配置が報告され、これに基づき実施する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 障害児保育を実施するには、適正な人材の確保が重要となる。しかし、現行の短期間のアルバイト保育士では、人との関わりが重要である障害児保育の質を確保するのは難しい。アルバイト以外の安定的な人材確保策の導入やアルバイト職員に対する研修体制の整備や雇用期間等の見直しの検討が必要である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 引続き障害児保育の充実を図る。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		施設維持管理					整理番号	418	枝番号					
担当部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	901011	連絡先電話番号	5317-5661	昨年度整理番号	432	昨年度枝番号				
係名		こども発達センター			上位施策名			No						
予算事業名		こども発達センター維持管理		コード	38250	障害児の援護の充実			27					
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		9年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号		施策番号		事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他						(1) 児童福祉法 (2) 杉並区立こども発達センター条例 (3) 杉並区立こども発達センター運営要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		建物の維持管理 施設運営に関する事務						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者が安全・快適に利用できるよう、施設を良好な状態に維持し、提供する。					
	活動指標名(式)		(1) 施設提供面積(開所日数 * (1775㎡) - 提供不能日数 * 提供不能面積)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)					
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%				
	活動指標(1)	㎡	440,200	434,875	434,875	518,300	518,300	521,850	434,875	119.2				
	活動指標(2)													
	成果指標(1)													
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	19,070	21,634	22,026	22,807	21,420	22,839	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円	9,575	10,510	9,818	9,571	9,408	9,478					
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	9,100	9,060	9,060	9,060	9,060	9,060				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	28,170	30,694	31,086	31,867	30,480	31,899					
	単位あたりコスト(-)÷		円	64	71	71	61	59	61					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	28,170	30,694	31,086	31,867	30,480	31,899						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)				
			その他		光熱水費・維持管理経費・保守管理委託費						21,420			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 418 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	93.9
		指導室やトイレの改修工事があったが、事業の無い日時に実施し、計画どおりに施設の提供ができた。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	発達障害への関心が高まり、低年齢からの相談や個別指導(言語心理指導)の希望者が増大しているため、暫定的に土曜日を開所し対応している。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	障害のある子どもが、共に学び生活することを通して発達が促されるよう、乳幼児期から学齢期まで継続した支援体制が求められている。				
	今後の予測	発達障害に関する社会的な認知度の高まりもあり今後も増加傾向にあるが、施設規模は限界に達している。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:施設を良好な状態で維持し、利用者が安全で快適に利用できている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策	理由または具体的内容:早目の予防的修繕や、事件・事故を未然に防ぐ努力をし、安全に施設を利用していただく。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:施設の維持管理経費は区が負担すべきであり、施設利用料等の徴収はなじまない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容:				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容▼					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 発達障害者の利用希望が増加しているが、サービス対象に対する施設規模は限界を超えている。今後は、発達センターのあり方も含めて発達障害児など要配慮児童に対する支援体制の検討・整備が必要である。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	経年劣化に対する修繕費用は必要だが、大規模な改修は計画していないため増減は少ないと見込まれる。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名 たんぼぼ園給食運営			整理番号	419	枝番号							
担当部課名 保健福祉部障害者施策課		コード	091011	連絡先 電話番号	5317-5661	昨年度 整理番号	433	昨年度 枝番号				
係名 こども発達センター			上位施策名			No						
予算事業名 こども発達センター事業運営			コード	36550	障害児の援護の充実			27				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	施策番号	事業コード				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 たんぼぼ園在籍児及びその保護者、給食指導職員			(1) 児童福祉法 (2) 杉並区こども発達センター給食実施要領 (3) 障害者自立支援法								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 通園児の昼食の提供及び摂食指導の実施 児童の口腔機能に合わせた食形態の提供			事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 集団の場での喫食に慣れ、健全な発育に必要な栄養を確保する 口腔機能の向上、また食域を拡大する 調理の工夫及び栄養面について保護者への啓蒙を行う								
	活動指標名(式) (1) 給食提供数 (2) 形態良及びアレルギー除去食を必要とする児童数			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 給食提供延べ数 ÷ 対象者延べ数 = 給食実施率 (2) (代)口腔機能向上児 ÷ 食形態、アレルギー除去食を必要とする児童数 = 特別食実施率								
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%		
指標	活動指標(1)		食	19,760	20,000	19,504	20,000	18,817	11,600	20,000	94.1	
	活動指標(2)		人	27	30	32	30	37	35	40	92.5	
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100	100	100.0	
	成果指標(2)		%	14	48	15	20	16	15	20	80.0	
総事業費・ コスト把握	事業費		千円	15,803	16,232	15,732	16,016	15,627	16,004	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	15,565	15,963	15,540	15,747	15,322	15,734			
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.81	1.81	1.81	1.81	1.81	1.81	「国・都からの支出金」は、通園グループ指導(たんぼぼ園)として給食費も含めて一括交付されているが、内訳は不明の為ここに計上できなかった。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	16,471	16,399	16,399	16,399	16,399			16,399
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	32,274	32,631	32,131	32,415	32,026	32,403			
	単位あたりコスト(-) ÷		円	1,633	1,632	1,647	1,621	1,702	2,793			
	財源	受益者負担分		千円	3,688	4,159	3,783	4,096	4,250			3,957
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	3,688	4,159	3,783	4,096	4,250	3,957				
差引: 一般財源 -		千円	28,586	28,472	28,348	28,319	27,776	28,446				
受益者負担比率 ÷		%	11.4	12.7	11.8	12.6	13.3	12.2				
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)			
			給食用品						305			
			給食調理業務委託						15,322			
			その他 ()						0			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 419 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	94.1	活動指標(2)の 18年度達成率%	123.3	18年度予算 執行率%	97.6
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		現状維持にとどまった。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	給食提供を義務づけた国の方針に変更はない。食材費は、他施設とのバランスを図りコストを下げた。個々の口腔機能に加え、アレルギー除去食の提供を行っている。暫定の定員増に伴い、食数の変更も行った。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	家では食べない食品を食べるきっかけになり、食域が広がった児童もいる。また、現在提供していない親子グループの保護者にも提供して欲しいとの要望がある。					
	今後の予測	食べる事に興味が薄い、発育がゆっくりで年齢に合わないなど、給食を通じての援助がより必要になることが考えられる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 栄養摂取だけでなく、口腔機能の状況に応じた食事に関してなど保護者の理解を容易にし、児童の健康維持に結び付いている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 親子グループの保護者にも給食を提供する事で、より成果があがると思われる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 給食費の見直しは行ったばかりである。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: すでに委託しており、安全に給食提供を行う為には、これ以上のコストダウンは難しい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 献立の作成は非常勤栄養士が行い、実際の調理は委託業者が行っている。形態食やアレルギー除去食の提供には細心の注意が必要であり、栄養士を中心に日々連携をとっている。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	専門的な仕事内容の為、委託業者の変更に伴って混乱が予測される。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 より効果をあげる為に、親子グループの保護者にも給食を提供する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 厨房の許容量に限りがある。委託費の増額が必要。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 実現に向けての検討。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		利用者通園バス(たんぼぼ園通園バス)					整理番号	420	枝番号		
担当部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	091011	連絡先 電話番号	5317-5661	昨年度 整理番号	434	昨年度 枝番号	
係名		こども発達センター					上位施策名		No		
予算事業名		こども発達センター事業運営		コード	366550	障害児の援護の充実		27			
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		9年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等		
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 児童福祉法 (2) 杉並区立こども発達センター通園グループ通所バス運行要綱 (3) 障害者自立支援法				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		住所や身体状況を考慮した停留所を設定し、マイクロバス3台で送迎する。 また、社会体験・保育園交流・アフターグループ等の交通手段として運行する。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) こどもが抱えている課題を解決するために、利用者利便を図り、療育の動機付けや継続的通園を支援する。				
	活動指標名(式)		(1) バス運行日数 (2) バス利用回数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) バス運行回数 ÷ バス運行日数 = 一日の平均運行回数 (2)				
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
指標	活動指標(1)		日	254	254	252	252	249	249	100.0	
	活動指標(2)		回	3,343	3,343	3,522	3,343	3,384	3,384	100.0	
	成果指標(1)		回	13	13	14	13	14	14	100.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	36,389	36,025	36,024	35,647	35,647	35,647	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円	36,389	36,025	36,024	35,647	35,647	35,647		
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	『国・都からの支出金』は、通園グループ指導(たんぼぼ園)に含まれる。 * 国・都からの支出金は通園指導(たんぼぼ園)としてバス運行も含めて一括交付されているが、内訳についてはここに計上できなかった。	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,641	4,621	4,621	4,621	4,621	4,621		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	41,030	40,646	40,645	40,268	40,268	40,268		
	単位あたりコスト(-) ÷		円	161,535	160,024	161,290	159,794	161,719	161,719		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	41,030	40,646	40,645	40,268	40,268	40,268			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		バス運行委託					249	日	35,647		
		その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 420 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	98.8	活動指標(2)の 18年度達成率%	101.2	18年度予算 執行率%	100.0
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	通園事業に支障のない範囲で個別指導に所する肢体不自由児、アフターグループ通園等にも利用範囲を広げ、より有効に活用している。定員増への対応としてやむなく、平成16年度より2便制になっている。乗車時間を1時間以内に収めること、2便目のバスがスムーズに運行できるように1便のバスをポイント制で運行している。しかし、区内全域に渡った利用者への対応に困難がある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	できるだけ自宅近くで乗り降りできるようにしてほしい。乗車時間は1時間以内にしてほしい等の要望がある。					
	今後の予測	16年度から2便運行での対応をするにあたり、日中の療育内容等へ影響が出ないよう様々な工夫してきた。年度途中の入退所もあり柔軟な対応が求められているが、現行の中では安全対策も含め厳しい面がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 距離や天候に左右されることなく、継続的な通園を可能にする手段となっている。園児にとってはバス通園すること事体が発達を促す機会となっている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 2便運行による時間の調整、活動内容に対して精一杯努力をしている。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: こどもの発達に精神的不安を抱えている保護者に対し、さらに経済的負担を求めることは、継続的な療育を実施する上での支障が大きい。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	すでに委託されており、安全なバス運行を持続する為には、これ以上のコストダウンは不可能。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 通園バス3台の運行を民間事業者に委託している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現状以上の対応は難しい。たんぼぼ園が増員される場合はバスの増設が必要。現状のままであれば利用者に負担がかかり、円滑な通園につながらない。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由						

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			たんぼぼ園通園グループ指導					整理番号	421	枝番号	
担当部課名			保健福祉部障害者施策課		コード	091011	連絡先 電話番号	5317-5661	昨年度 整理番号	435	昨年度 枝番号
係名			こども発達センター					上位施策名		No	
予算事業名			こども発達センター事業運営		コード	36550	障害児の援護の充実		27		
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		9 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 児童福祉法 (2) 障害者自立支援法 (3) 杉並区こども発達センター条例			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 心身に障害や発達に遅れのある就学前の児童とその保護者		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		集団活動を通して、低年齢からの適切な療育を実施する事により、発達を促し、児童が身近な地域の中で、生活できるようにする また、療育の場に保護者も参加する事によって、見通しをもち子育てできるようにする			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			児童だけで通う日と親子で通う日がある幼児グループと、通年親子で通う親子グループがある 自由遊び、設定遊び、社会体験活動を実施し、児童の発達を促す		活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 定員 (2) 通園児延人数			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			児童だけで通う日と親子で通う日がある幼児グループと、通年親子で通う親子グループがある 自由遊び、設定遊び、社会体験活動を実施し、児童の発達を促す		成果指標名(式)		(1) 通園児童数 ÷ 通園希望児 (2)			
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%
	活動指標(1)		人	96	96	96	96	107	128	154	69.5
	活動指標(2)		人	118	120	124	120	137	150	154	89.0
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100	100	100.0
	成果指標(2)										
	事業費		千円	14,445	14,952	13,977	14,787	13,856	14,710	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 「国・都からの支出金」 は、通園グループ指導 として一括交付されて いる。 自立支援法の施行に 伴い18年10月から1 割の定率負担が導入さ れた。	
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	16.08	16.08	16.08	16.08	16.08	16.08		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	146,328	145,685	145,685	145,685	145,685	145,685		
非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0			
総事業費 + +		千円	160,773	160,637	159,662	160,472	159,541	160,395			
単位あたりコスト(-) ÷		円	1,674,719	1,673,302	1,663,146	1,671,583	1,491,037	1,253,086			
財源	受益者負担分	千円					2,064	3,348			
	国・都等からの支出金	千円									
	特定財源計 +	千円	0	0	0	0	2,064	3,348			
	差引: 一般財源 -	千円	160,773	160,637	159,662	160,472	157,477	157,047			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.1			
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)	
			日常生活指導							12,810	
			健康管理(耳鼻科・眼科・歯科)							584	
			専門療法(水・音楽・造形)							462	
			その他 ()							0	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 421 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	111.5	活動指標(2)の 18年度達成率%	114.2	18年度予算 執行率%	93.7
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		発達障害者支援法の成立に併せ、療育支援が必要な軽度発達障害児のニーズ、また、医療の進歩に伴って医療的ケアを含む重度の児童のニーズが増加している。 通園希望児の急激な増加を受けて、定員を拡大また運営方法の工夫をし、対応していった。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成15年度、済美養護学校幼児教室の廃止に伴い定員を増やし、併せて幼児グループの親子通園日を減らした。また、通園希望児の増加に伴い16年度から暫定対応として定員を増やし対応している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	通園希望児を速やかな受け入れ、また通園日数及び時間延長の要望がある。					
	今後の予測	保健センターでの乳幼児健診の充実と、家庭での育児力の低下に伴い、低年齢からの通園希望児の増加が見込まれる。 また、個別指導など個々の療育内容の充実を求める声が高まると予測される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 児童の成長発達及び保護者の精神面のフォローや子育て意欲の向上に結びついている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 児童に関わる他機関との連携を深め役割分担をする中で、より早期に統合環境につなげていく事ができると思われる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 児童の発達に不安を抱えている時期の保護者に対し、経済的負担を求める事は、療育につながる動機付けを下げ、継続的療育を実施するうえで支障がある。幼児グループについては、利用料の一割負担を実施している。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 障害の重度化・低年齢化、また軽度発達障害児の通園希望者が増加している。人的対応や専門的アプローチが強く求められており、コストダウンは難しい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 親子で通う通園形態をとっている為、通園児の弟妹の対応は託児ボランティアに行ってもらっている。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	地域のボランティアを受け入れて、通園児童の理解を深めてもらう機会にしている。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 軽度発達障害児の対応については、適所での療育を考えていく。 重度については、都の委託事業を受け、財政的な確保と対応の基準を明確にしていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 関係機関との役割分担を明確にし、療育システムの確立を勧める。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 都の委託事業をうけて、人的な整備を行う必要がある。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		訓練及び行事					整理番号	422	枝番号		
担当部課名		保健福祉部施策課		コード	091011	連絡先電話番号	5317-5661	昨年度整理番号	436	昨年度枝番号	
係名					子ども発達センター		上位施策名		No		
予算事業名					子ども発達センター事業運営		コード	36550	障害児の援護の充実		27
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 児童福祉法 (2) 杉並区立子ども発達センター条例 (3) 障害者自立支援法						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		園外訓練(遠足)、就学を祝う会、家族交流会 夏まつり 障害を持つため、地域の祭りに参加できない親子に祭りの体験をしてもらう。又日頃センターに来所することのない父親や家族が来所する機会とする。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 子ども達が訓練や行事に参加し、さまざまな体験をすることを、成長のきっかけとする。 日頃の活動の節目として実施し、こどもの成長と発達を促す。						
	活動指標名(式)		(1) 園外訓練(遠足)等の参加者 (2) 夏まつりの参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 園外訓練(遠足)寺に参加した児童数 ÷ 対象児童数 = 参加率 (2) 夏まつりの参加数 ÷ 対象児童数 = 参加率						
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		人	302	330	295	352	289	289	100.0	
	活動指標(2)		人	66	94	69	94	62	130	130	47.7
	成果指標(1)		%	70	96	73	96	70	96	96	72.9
	成果指標(2)		%	71	98	74	98	45	98	96	46.9
総事業費・コスト把握	事業費		千円	244	369	230	369	239	239	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) ・天候により中止となった社会体験もあった。 ・平成16年度からは予算が執行された社会体験のみ載せている。社会体験としては予算執行以外にも、レストラン学習や公共交通機関を使った散歩などを実施しており参加意欲は高い。その際は受益者負担となっている。 ・夏まつりは個別指導利用者を含めたセンター全体の行事で300人程の参加者がいるが、ここでは通園グループ児を対象としている。	
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	11,830	11,778	11,778	11,778	11,778	11,778		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	12,074	12,147	12,008	12,147	12,017	124,737		
	単位あたりコスト(-) ÷		円	39,980	36,809	40,705	34,509	41,581	431,616		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	12,074	12,147	12,008	12,147	12,017	124,737			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		なつまつり							130		
		社会体験							98		
		就学を祝う会							11		
		その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 422 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	82.1	活動指標(2)の 18年度達成率%	66.0	18年度予算 執行率%	64.8
		親子の健康状態、家族の養育等により参加できなかったため、悪天候により中止になり実施できないものもあった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		保護者の交通費を実費負担してもらうことにより、予算が削減できた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	園外訓練の保護者の交通費を、実費負担にした。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	様々な社会体験をすることで、社会に出るきっかけや、自信につながるので今後も続けて欲しいとの要望がある。					
	今後の予測	内容・対象者についての見直しはあるが、訓練及び行事はこどもの成長には大事な取り組みであり、必要な行事である。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由:心身の発達を促すためには、多様な体験の場が必要である。保護者同士の交流をすることで、育児不安が軽減されている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:内容や方法を工夫していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:交通費や飲食費の負担をすでに行っている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:受益者負担も行っている中でのコストダウンは難しい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 なつまつりは学生ボランティアに事業運営を行ってもらっている。内容によっては専門性や保護者との信頼関係を図らなければいけないものもある。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現行以外でも必要な行事について検討したうえで、行事の見直しを行う。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 実現に向けて検討していく	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		相談					整理番号	423	枝番号			
担当部課名	障害者施策課	コード	091011	連絡先電話番号	5317-5661	昨年度整理番号	437	昨年度枝番号				
係名	こども発達センター	上位施策名					No					
予算事業名	こども発達センター事業運営	コード	36550	障害児の援護の充実					27			
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	9 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号		施策番号		事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 心身の発達につまずきや障害があると思われる、区内在住の18歳未満の子どもの保護者及び関係者。		(1) 杉並区立こども発達センター条例 (2) 杉並区立こども発達センター運営要綱 (3) 杉並区立こども発達センター相談事業実施要領								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	電話・来所による相談を受け、適切な解決策が得られるよう援助する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 相談者を受容し適切に対応することにより、保護者等が安心して療育・保育・教育等にのぞめるようになり、障害のある子どもの発達の機会が早期に保障される。								
	活動指標名(式)	(1) 相談実施件数(電話相談・新規相談・医療相談) (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 相談により適切な療育を受けられるようになった数 (2)								
指標	区分	単位	16年度実績	17年度計画	17年度実績	18年度計画	18年度実績	19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
	活動指標(1)	件	737	780	819	850	813	840				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	件	730	780	801	850	802	840				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,651	1,664	1,616	1,664	1,523	1,675	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円										
	(内) 委託費	千円										
	職員数(常勤 非常勤)	人	3.23	4.03	4.03	4.03	4.23	4.23				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	29,393	36,512	36,512	36,512	38,324	38,324			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	31,044	38,176	38,128	38,176	39,847	39,999				
	単位あたりコスト(-) ÷	円	42,122	48,944	46,554	44,913	49,012	47,618				
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	31,044	38,176	38,128	38,176	39,847	39,999				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)			
	相談(一般相談・医療相談・専門相談)						813	件	1,523			
	その他 ()								0			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号	423	枝番号	
------	-----	-----	--

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	95.6	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	91.5
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	相談件数 11年度476件 12年度504件 13年度592件 14年度620件 15年度683件 16年度737件 17年度819件 18年度813件			
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	就学後の様々な相談に応じてほしいとの要望がある。			
	今後の予測	保健センターでの健診・専門相談の充実等から知的な遅れを伴わない発達障害児の早期発見が進み、相談件数増が見込まれる。また医療技術の進歩により、医療的な配慮が必要な重度障害児の相談件数増加が見込まれる。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)		理由: 区内における障害の早期発見・早期療育の中核を担っている。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		理由または具体的内容: 理由または具体的内容:理由または具体的内容:保護者が安心して相談できるように、保健センター、幼稚園、保育園等関係機関との連携を図り、的確に相談に応じる。		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		理由または具体的内容:有料化により早期相談の機会を失うため。		
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)		理由または具体的内容:医療相談は非常勤体制で実施している。		
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)		協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手		協働等による成果と課題 各機関間のコーディネート業務であるため、行政が直接行うことが必要である。		
	(3) 協働等の形態				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 増加する相談に対応するため、19年度中に区内関係機関を含め、相談体制の役割を見直し、早急に対策を検討する。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 重症心身障害児に対応した相談体制の強化	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		言語心理指導					整理番号	424	枝番号		
担当部課名 保健福祉部 障害者施策課		コード	091011	連絡先電話番号	5317-5661	昨年度整理番号	438	昨年度枝番号			
係名 こども発達センター		上位施策名					No				
予算事業名 こども発達センター事業運営		コード	36550	障害児の援護の充実					27		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード						
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 発達に遅れのある区内在住の18歳未満のこどもとその保護者		根拠法令等 (1) 杉並区立こども発達センター条例 (2) 杉並区立こども発達センター運営要綱 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		言語・心理の専門技術により、対象者の発達全般を促すと共に保護者が障害を正しく理解し適切な対応ができるよう援助する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 言語・心理の専門的な指導によりその発達が促され、本人の可能性や能力が発揮できる。						
	活動指標名(式)		(1) 個別指導及び専門相談実施件数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)個別指導及び専門相談を実施し向上した人数 (2)						
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		件	4,786	4,700	5,036	5,000	5,449	5,500		
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		人	382	380	619	600	700	720		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	32,868	36,655	35,606	37,700	37,550	37,462	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	14,833	14,768	14,768	14,768	14,768	14,768	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 ++		千円	47,701	51,423	50,374	52,468	52,318	52,230		
	単位あたりコスト(-) ÷		円	9,967	10,941	10,003	10,494	9,601	9,496		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	47,701	51,423	50,374	52,468	52,318	52,230			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		言語心理指導					4,171	回	37,130		
		その他 (タッチ型コミュニケーションシステム開発)							420		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 424 校番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	109.0	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	99.6
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		発達障害児に対し一貫した支援体制構築のため、支援のあり方について内部検討を行った。 20年度以降の整備にむけて、庁内関係部署(障害福祉、こども家庭、保健、教育)による検討会を設置する予定である。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	言語心理指導及び専門相談の実施件数 12年度 3,174件 13年度 4,231件 14年度 4,259件 15年度 4,603件 16年度 4,786件 17年度 5,036件 18年度 5449件					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	学齢期の指導継続を望む声が出ている。					
	今後の予測	関係機関と連携し早期発見・療育体制を整備し、学齢期につなぐ相談・指導の充実を図る。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 早期療育の実施により、発達の遅れや障害のある子どもの心身の発達を促している。またこどもに対する理解を深めることで保護者の育児上の困難を軽減している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 需要増に対して施設設備面が限界となっている。新たに支援対象として法律に位置付けられた発達障害児を含めた支援体制の整備をする必要がある。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 継続的な指導を適切に実施することに支障をきたすと考えられる。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現在も非常勤職員を配置して実施している。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 各機関間のコーディネート業務を軸に総合的な支援を行なうことで大きな指導効果が得られるものであり、区が実施する必要がある。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 20年度以降の事業のあり方について19年度前半に検討会報告をまとめる予定である。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 上記検討会の報告をもとに予算編成を行う		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健指導			整理番号	425	枝番号								
担当部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	091011	連絡先 電話番号	5317-5661	昨年度 整理番号	439	昨年度 枝番号					
係名				こども発達センター				上位施策名		No					
予算事業名				こども発達センター事業運営				コード		36550		障害児の援護の充実		27	
事業開始年度		○昭和 ●平成		9年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		施策番号 事業コード	
事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規		<input type="checkbox"/> 一部新規		<input type="checkbox"/> 臨時・単年度		<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 杉並区立こども発達センター条例 (2) 杉並区立こども発達センター運営要綱 (3) 杉並区立こども発達センター保健医療事業実施要綱			
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人		<input checked="" type="checkbox"/> 世帯		<input type="checkbox"/> 団体		<input type="checkbox"/> その他		相談・通園グループ指導・個別指導の利用児とその保護者および関係者		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者の健康維持を図るとともに、口腔機能・摂食嚥下機能の向上等をめざし、本人の可能性・能力を十分に発揮できるようにする。			
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		看護師の視診による子どもの身体状況の把握。口腔機能・摂食嚥下機能の評価および技術援助。保健・栄養相談に応じる他、保健だよりなどで保健情報を提供する		活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
		(1) 保健指導実施件数		(2)		(1) (代) 個別の摂食指導を受け機能が向上した人数		(2)							

区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
			計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	人	869	800	1,074	800	1,077	1,000		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	人	66	60	85	60	87	80		
	成果指標(2)									
総事業費・ コスト把握	事業費	千円	2,038	2,213	1,977	1,923	1,956	1,962	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円								
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.14	1.14	1.14	1.14	1.14	1.14		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	10,374	10,328	10,328	10,328	10,328	10,328	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 + +	千円	12,412	12,541	12,305	12,251	12,284	12,290		
	単位あたりコスト(-)÷	円	14,283	15,676	11,457	15,314	11,406	12,290		
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 -		千円	12,412	12,541	12,305	12,251	12,284	12,290		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

18年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	保健指導		1,077	件	1,956
	その他 ()				0

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 425 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	134.6	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	101.7
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	摂食指導人数 11年度 58人 12年度 67人 13年度 65人 14年度 69人 15年度 63人 16年度 66人 17年度 85人 18年度 87人				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	摂食指導対象児が所属する保育園・学校などから、職員に対する支援を充実してほしいという要望がある				
	今後の予測	医療的ケアの必要な障害程度が重い子どもが増えると思われる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 障害の状況は個人差が大きく、こどもの健康管理に対する指導・助言により継続した療育実施が可能になっている。摂食指導は、豊かな日常生活の実現になくてはならないものといえる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 保健センター、保育園等から相談につながり易いよう、関係機関との緊密な連携をとる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 継続的な事業実施に支障をきたすと考えられる				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 摂食指導対象者は減少していないため、専門技術者の指導回数は減らせない。また、指導の効果を高めるためには他職種の関与も欠かせない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 各機関間のコーディネート業務が必要であり、区が行う必要がある				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 職員が指導技術を向上させることや保育園・学校等に対して知識・技術の支援を行うことにより、今後の対象拡大に対してコストを増やさずに対応する。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		運動機能リハビリテーション						整理番号	426	枝番号	
担当部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	091011	連絡先電話番号	5317-5661	昨年度整理番号	440	昨年度枝番号	
係名				子ども発達センター				上位施策名		No	
予算事業名				子ども発達センター事業運営		コード	36550	障害児の援護の充実		27	
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業 政策番号 施策番号 事業コード			
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区立子ども発達センター条例 (2) 杉並区立子ども発達センター運営要綱 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			理学療法及び作業療法の専門技術により対象者の運動発達を促すとともに、保護者が障害を正しく理解し適切な対応ができるよう援助する。補装具相談を実施する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 対象者の発達が促され、もてる能力を最大限に発揮して可能な限り質の高い日常生活を送ることができるようにする。					
	活動指標名(式)			(1) リハビリテーション個別指導及び専門相談実施件数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) リハビリテーション個別指導及び専門相談実施人数 (2)					
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		件	2,770	2,800	2,987	2,800	3,076	2,800		
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		人	162	160	177	160	183	160		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,122	3,982	4,115	3,884	5,049	7,532	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	3.67	3.67	3.67	3.67	3.67	3.67		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	33,397	33,250	33,250	33,250	33,250		33,250
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費 + +		千円	37,519	37,232	37,365	37,134	38,299	40,782		
	単位あたりコスト(-)÷		円	13,545	13,297	12,509	13,262	12,451	14,565		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	37,519	37,232	37,365	37,134	38,299	40,782			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)	
			運動機能リハビリテーション					3,076	件	5,049	
			その他 ()							0	



平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	巡回指導	整理番号	427	枝番号	
担当部課名	保健福祉部 障害者施策課	コード	091011	連絡先電話番号	5317-5661
係名	こども発達センター	上位施策名	No		
予算事業名	こども発達センター事業運営	コード	36550	障害児の援護の充実	27

事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 _____ 政策番号 _____ 施策番号 _____ 事業コード _____ <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他	(1) 杉並区立こども発達センター条例 (2) 杉並区立こども発達センター運営要綱 (3) 杉並区立こども発達センター巡回指導実施要領
	区内在住の18歳未満で運動機能に障害があり、日常生活動作が困難な子どもとその保護者及び関係者	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 保育担当者が不安なく障害児保育に従事し、適切に指導することと障害児の地域での生活が充実する
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 児童精神科の医師や心理の職員が保育園・幼稚園に出向き、担当者の相談に応じ助言指導・情報交換を行うことで、相互に協力しながら障害児の抱える課題の解決を図る。	活動指標名(式) (1) 巡回指導実施件数 (2)
	成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)巡回指導を受けた保育園児・幼稚園児の数 (2)	

区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	件	391	400	431	430	492	450		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	人	127	130	128	130	127	130		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	8,882	9,154	8,656	9,174	8,634	9,173	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内)投資的経費等	千円								
	(内)委託費	千円	8,882	9,154	8,656	9,174	8,634	9,173		
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.00	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,100	9,966	9,966	9,966	9,966	9,966	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 + +	千円	17,982	19,120	18,622	19,140	18,600	19,139		
	単位あたりコスト(-)÷	円	45,990	47,800	43,206	44,512	37,805	42,531		
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	17,982	19,120	18,622	19,140	18,600	19,139		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

18年度の主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
	巡回指導(委託)	352	回	8,634
	その他 ()			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 427 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	114.4	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	94.1
		園の希望調査をしたところ、医師よりも心理の巡回を望むところが多かった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		保育課で要配慮児巡回指導を新規に実施する					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	巡回指導実施回数 11年度 241回 12年度 251回 13年度 243回 14年度 246回 15年度 313回 16年度 391回 17年度 431回 17年度 492回					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	保育園・幼稚園から、回数増の他、訪問時間、訪問時期等きめ細かな対応を求められている					
	今後の予測	幼稚園から心理巡回指導の要望が急増しているため予算が不足するおそれがある					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 障害児の発達を促すためには、療育に関わる機関相互の連携が不可欠であり、療育システムを形作る中心的事業となっている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由ま: 必要とされる医師、心理職の訪問回数を園のニーズに合わせて対応していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由: 巡回先は公的機関が中心であり有料化には馴染まない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由: すでに外部委託にて実施している。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 回数増に伴い、事業者との意思疎通をきめ細かく行う必要がある。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 心理職が集中的に訪問する重点園型を増やし、園全体を支援する。	
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 重点園型の対象を拡大することでコスト増につながるため、実施方法を検討していく必要がある。		
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		療育講座等						整理番号	428	枝番号		
担当部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	091011	連絡先電話番号	5317-5661	昨年度整理番号	442	昨年度枝番号		
係名				子ども発達センター				上位施策名		No		
予算事業名				子ども発達センター事業運営		コード	36550	障害児の援護の充実		27		
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業 政策番号 施策番号 事業コード				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 子ども発達センター利用児の保護者 関係機関職員		(1) 杉並区立子ども発達センター条例 (2) 杉並区立子ども発達センター運営要綱 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			療育講座(年2回) リハビリテーション講座(年1回) 摂食指導講演会(年1回) 施設公開(年1回)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 保護者が子どもの状況を理解し、将来に見通しをもった子育てができるようになる。障害や子育てについての最新知識や情報を得ることにより、地域での受入れや関係機関との連携をスムーズにする。						
	活動指標名(式)			(1) 各種講座延参加者数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)参加者数 ÷ センター利用登録者数(療育講座) = 参加率 (2)						
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		人	191	190	243	200	220	200			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	40	40	36	40	29	40			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	201	213	207	451	281	221	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.70	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,370	7,248	7,248	7,248	7,248	7,248		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	6,571	7,461	7,455	7,699	7,529	7,469			
	単位あたりコスト(-)÷		円	34,403	39,268	30,679	38,495	34,223	37,345			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	6,571	7,461	7,455	7,699	7,529	7,469				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)			
			療育講座				95	人	153			
			施設公開				69	人	60			
			職員研修				1	回	14			
			その他 (ありかた検討会)						54			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号	428	枝番号	
------	-----	-----	--

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	110.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	62.3
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)					

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	講座の内容に関する要望が多岐かつ専門的になってきたのでテーマを絞って実施している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	専門的な知見を育児に関する身近な事柄と結びつけた内容のため、分かりやすく、役立つとの声寄せられている。 適切な情報や最新の知識を事例に即して具体的に講義をしてほしいとの要望が強い。
	今後の予測	子どもとの関りに悩みを抱える保護者は多く、育児に関する具体的な講座の需要は高い。子育ての幅が広がるような児への関わり方や発達障害に対する理解等の需要が高まると予想される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 保護者の障害に対する理解をすすめるとともに、関係機関職員の知識習得や連携の契機となっている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 事前に参加希望者の質問事項を集約し、講演内容に反映させる。来場者に講演内容の感想や次回の希望テーマを伺う等により、講師、テーマを選考している。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 障害児の総合的療育体制を実現するための啓発・基盤整備の一環として行うことが必要であり、受講料設定はなじまない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 総事業費は削減できないが、参加人数を増やすことにより1件あたりのコストを下げることは可能である。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 区が直接実施した方が効率的である。
	(3) 協働等の形態	

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 障害の理解・啓発を促しつつ、センター利用者、関係機関の日常の支援に活かせる内容にしていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	

20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	